

聞こえのフレイルを予防

問 高齢福祉課

内 3237 (聞こえについて)

内 3222 (助成について)

「会話が聞き取りにくく、人との関わりが面倒」と感じたら、耳の衰え「聞こえのフレイル」かもしれません。放置すると、社会的な孤立や認知症の発症リスクの高まりにつながることがあります。地域とつながり、自分らしく生活するために「聞こえのフレイル」を予防する制度を活用しませんか。

※フレイルとは、健康と要介護の中間の段階です。早く対策をすれば健康な状態に戻る可能性があります。

まずは知ることから！聞こえのチェックと学習

高齢者サロンでのミニ講話

内容 認定補聴器技能者などによるミニ講話（聞こえの大切さ）、簡易聴力チェック、補聴器の説明

対象者 各サロンの参加者

※今年度は市で指定したサロンのみで開催。

市民向け講演会

難聴を正しく理解し、社会参加の大切さを学びます。

内容 医師などによる講演会「難聴の正しい理解」

対象者 市内在住の人

※日時や場所は決まり次第、市HPや広報かにてお知らせします。

高齢者サロンとは

地域住民が気軽に集える場所で、「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」ができます。高齢者や子育て中の親子、多世代が交流するサロンなど、さまざまなかたちのサロンがあります。

サロンの一覧はこちら



補聴器の購入費用の一部を助成

申請方法は、市HPを確認してください。

助成額 購入費用の2分の1 (上限40,000円)

対象物 補聴器本体、電池、充電器、イヤモールド

対象者 (次の要件を全て満たす人)

○可児市に住民票がある65歳以上の人

○住民税非課税世帯の人

○中等度難聴の人(両耳の聴力レベルがいずれも40dB以上)

※身体障害者手帳の対象とならない人に限る。

○労働者災害補償保険法などの補聴器購入助成の対象とならない人

○市内の販売店で補聴器を購入する人

○過去にこの助成を受けた人は、前回の交付決定日から5年を経過した人

○市税を滞納していない人



詳細はこちら

